

民生委員が改選されました

令和元年12月1日付けで全国一斉に民生委員、主任児童委員の改選が行われた。

山辺地区では12名のベテラン委員が退任、新たに現在までに14名が選任され、現状39名の陣容で令和4年11月30日までの任期で地域生活でのお困り事等の相談窓口を務めることとなります。各町内の民生委員・主任児童委員は次の方々です。

- 八幡1 有田敏子・岡野綾子、八幡2 海老澤寿子、八幡3 本橋陽美・荻野浩子、八幡4 落合かおる、八幡5 市原初枝、前田賢一、八幡6 植竹裕、借宿1 徳井範子、借宿2 梅沢すみ代、借宿3 阿久田操子、借宿4 島田恵子、中川柳沢猛・齋藤恵子、西新井須永嘉子・須永三子子、滝宮未定、堀込1 矢代豊子・後藤能江・岸悦子、堀込2 樋口茂延・中村ゆき江・新井明・若佐あつ子、朝倉1 丸山菜穂子・相川陽子、朝倉2 家泉ユキエ・田中幸子、朝倉3 辺見泰子・尾崎雅治、田中1 玉井祥三、田中2 三田美江子、大根田和男、田中3 田部井久代、田中4 齋藤光勇、主任児童委員

富福百子 萩原恵美子・倉林順子・上岡恵子
どこぞ宜しくお願ひ致します。

民生委員を退任して

「ありがとう」を繋げる



朝倉町 坂本由美子
「もっと相応しい人に、私には荷が重すぎます」
何回も自治

会長と押し問答の末、引き受けました。平成19年12月から4期12年に亘る活動でした。

山辺民児協の仲間達は常に健全な地域社会作り熱心で、施設等の視察や研修を実施し、日々の変化する状況を学びました。それにより色々な相談を受けた時、相手の心に寄り添って話を聞くことができました。困っている人を公的機関に繋げて行くのが私達の任務です。
又、主任児童委員のご指導の下、学校関係も良好で、当時私も孫育て中でしたので孫達の通う学校の行事に参加すること

で、地域の子供達の事がよく解り、大変有意義な時間を過ごすことができました。

そして、在任中に二度の自然災害を体験、平成23年の3・11東日本大震災と昨年10月12日の台風19号水害です。台風では朝倉1丁目では床上、床下浸水の被害が70世帯にも及びました。要支援者宅への見守り活動で全員の無事を確認できた時は一番嬉しかったです。自然災害はいつ起きるか解りません。災害時に「隣に誰が住んでるか知らない」というのでは助け合うことすらできません。皆様と共に普段からのコミュニケーション作りを考えていきたいと思います。

台風19号の被災現場のお手伝いをしてる時、被害にあわれているにも拘わらず「ありがとう」の言葉をかけられました。「大変な時だからお互い様。お体に気を付けて。」どんな時でも「ありがとう」は心を暖かくし、人々を優しくします。
子供への虐待や障がい者への差別発言、あおり運転等暗いニュースを聞くたびに悲しくやりきれない思いになります。明るい笑顔いっぱい令和の世を願っています。

民生委員を退任して 心に残る感謝の言葉

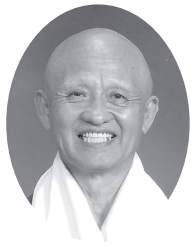


八幡町 堀越栄子
3期9年
民生委員をやらせて頂きました。始めは少しづつ先輩の指導を受け現実の様々な事象に深く心を打たれつつ、一期が過ぎる頃は色々な事例を抱え、一生懸命に立ち向かっておりました。

相手の立場、心情、望んでいる事を上手に聞き出し、相手が心を痛めない様配慮しました。
同居、高齢者、外国人、障がい者、母子家庭、生活保護家庭、本当に色々あります。保護課、包括支援の皆様には自分の勉強になる事が多く大感謝です。包括でも手に負えない事例もあり市に戻した事もありました。

9年間で感じたことは生活保護の方より年金ぎりぎり生活される方のほうが大変な現状にある事です。
明暗の狭間でしょつか、短期間で5人程見守りながら生保になった方達がいまいました。お一人は70

源田晃澄師の 防災講演会開催



近年の異常気象には驚かされる事が多すぎます。人間の所業の為せる業かと恨めしくも負してきた足利市民の心胆を揺るがしめたのが昨年十月の台風19号による水害であった。しかし

返仕事を頑張るからと言っていましたが大変な持病もあって70の少し前で生保手続きをし、入院もでき、感謝と安心の中で一年足らずで旅立ちました。後の四人の方々も病を持ち、生保に助けられ「感謝しています。ありがとう」の言葉を残して皆さんそれぞれに旅立つて行きました。民生委員として一番私の心に残る言葉でした。
民生委員という肩書に感謝です。色々見て経験でき、民児協の皆様と出会う、多くの思い出を頂きました。これからの民児協の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



源田師の体験が
国交省より絵本になる。

瀬川の河原上に成り立ち、70余年前にはカスリーン台風による大災害に襲われていただけに「当地は災害が少ない」なんて事は幻ではないか。

本年の講演会には、この教訓から住民への啓蒙を込めて、カスリーン台風の自らの経験を基に幅広い防災救済活動を推進して来られている徳蔵寺住職、源田晃澄師にお願いした。

2月6日(木)午後開会。午前は別団体の利用があり、空くと同時に役員一同一斉に準備発進。会場設営の他、国交省から借用の力スリーン台風災害関連大型パネル12枚掲示、DVD映画設定等進める。凡そ二〇〇名の参加の下に定時開会できた。

源田師は徳蔵寺に生まれ、5歳直前にカスリーン台風大災害に遭遇、余りに悲惨で強烈な体験がその後の人生構築のバックボーンを成させたよつである。
比叡山にて学業と修行を終え、娑婆での衆生の救済実践こそが

民生委員としてのこの12年間、私の人生の中で一番実り多い貴重な時間でした。退任後も思いやりの心をもって山辺地区の発展に寄与していく所存です。地域の皆様に助けられながら任務に邁進できました事を深く感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

老人給食サービスの ボランティア募集します

あなたの料理の腕を是非生かしませんか。

月一回、見守り支援が必要と思われる独居高齢者への作り立ての温かいお弁当をお届けする「独居高齢者給食サービス」事業は、山辺地区社会福祉協議会発足当時から中心事業です。
現在約40名のボランティアが3班に分かれ、月一回の給食日を順番で担当しています。

今回メンバー補強致したく、新規ボランティアを募集致します。是非ご参加下さい。問い合わせ・申し込みは公民館窓口まで



命を守る防災の要点に加え、
人心救済の根幹にふれる
人生講話も語られる源田師